

園家山植樹活動に参加しました。

令和4年10月18日（火）、入善町下飯野「園家山」において入善町下飯野地区と入善町が主催する“令和4年度 園家山植樹活動”に参加しました。

下飯野地区では松くい虫の被害木を伐倒駆除してきたことでクロマツが減少していることから、令和3年度から地区と町が主催して被害跡地へ抵抗性マツを植栽しており、今回は2度目の開催となります。

当日は朝から雨にみまわれたため園家コミュニティセンター内で開会式を行いました。植樹活動時は一時的に雨も上がり、下飯野地区住民や入善花とみどりの少年団員（飯野小学校の6年生）、入善町長、町議会関係者など71名で、抵抗性クロマツ300本を植栽しました。

開会式で新川農林振興センター職員が海岸林の必要性や松くい虫被害について説明した後、植樹会場へ移動し、森林組合の職員が植樹のポイントについて実演をふまえて説明を行ったことで、参加者の皆さんは丁寧に植樹することができました。

今回植栽した苗木が順調に育ち、園家山の景観がよみがえることを願っています。



開会式で松くい虫被害について説明



森林組合職員による植樹方法の説明



植樹活動



植樹完了